

鳥取県におけるエコツーリズム・グリーンツーリズムの現状と課題

環境計画研究室 名島 翔

1. はじめに

近年、日本においてエコツーリズム、グリーンツーリズムという言葉が脚光を浴びてきている。エコツーリズム、グリーンツーリズムともにサステイナブルツーリズム(持続可能な観光)の概念から生まれたものであるが、エコツーリズムは特に自然環境の保全と触れ合いに重点が、グリーンツーリズムは農業を通じた都心部の人々と農村部の人々との交流に重点が置かれている点が特徴である。これらの特徴から各都道府県において、エコツーリズム、グリーンツーリズムを町の活性化に活用しようとする動きが高まっている。

鳥取県としても上記の特徴を活かし、地域振興につなげようとする動きがある。現在鳥取県では、グリーンツーリズムとしては県内で10数か所、エコツーリズムとしては種々の活動と、特に、大山・中海・隠岐エコツーリズム評議会が立ち上がり、エコツーリズム、グリーンツーリズムに添った観光地の普及が行われている。しかし、未だ発展途上にあると言ってもよく、鳥取県内のエコツーリズム、グリーンツーリズムの把握は困難となっている。

そこで本研究では、鳥取県内のエコツーリズム、グリーンツーリズムの把握から開始し、感性工学的手法を用いた鳥取県内のエコツーリズム、グリーンツーリズムの景観評価を行う。また、他地域との比較による鳥取県内のエコツーリズム・グリーンツーリズムの課題抽出を行う。

2 感性工学

感性工学とは人が持っている感性(イメージ)を物理的なデザイン要素に翻訳し、それを設計し実現する技術である。例えば感性を表現する例として、「可愛いー可愛くない」とか「上品なー下品な」、「シンプルなー複雑な」などの形容詞で表される。その形容詞がイメージ形容詞であり、これを用いて分析を行う。

3. エコツーリズム、グリーンツーリズムの把握

1)鳥取県のグリーンツーリズム

県内の各種民間団体が独自に都市との交流を行っており、また、学童のための農作業体験事業や自然との触れ合い体験事業なども活発に実施している。

2)鳥取県のエコツーリズム

鳥取県内のエコツーリズムは主に大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会を中心とした鳥取県西部地区で行われている。

4. 景観評価結果

感性工学を用いた鳥取県のエコツーリズム、グリーンツーリズムの景観評価結果を示す。

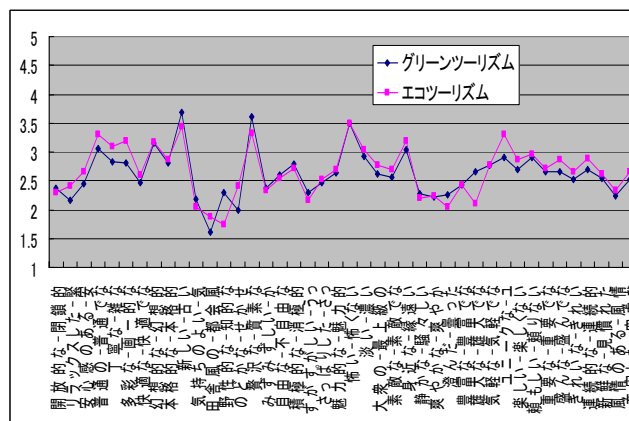


図1:エコツーリズム、グリーンツーリズムのSDプロフィール

図1を見ると、グリーンツーリズム、エコツーリズムの景観は似た印象を被験者に与えていると思われる。

次にグリーンツーリズム、エコツーリズムの景観の因子分析結果を示す。

表1:グリーンツーリズムの因子分析結果

因子分析結果(n=347)						
変数名			因子No. 1	因子No. 2	因子No. 3	共通性
第1因子						
19)	開放感	すがすがしい	0.82	0.02	0.02	0.68
28)		爽やかな	0.70	0.05	0.12	0.51
11)		気持ちのよい	0.67	0.06	0.19	0.49
17)		自由な	0.67	0.04	0.15	0.47
29)		澄んだ	0.65	0.16	0.33	0.56
20)		さっぱりした	0.65	-0.05	0.00	0.43
16)		みずみずしい	0.56	-0.15	0.13	0.35
3)		安心感のある	0.54	0.13	0.26	0.38
41)		風情のある	0.54	0.06	0.35	0.41
1)		開放的な	0.52	0.12	0.08	0.29
31)		雄大な	0.51	-0.12	0.27	0.34
第2因子						
25)a	華やかさ	素敵な	0.09	0.83	0.00	0.70
21)a		魅力的な	-0.01	0.78	0.07	0.61
38)a		きれいな	0.07	0.67	0.03	0.46
34)a		楽しい	-0.03	0.58	0.02	0.34
第3因子						
35)	安定さ	頼もしい	0.04	0.01	0.60	0.36
30)		豊富な	0.35	0.02	0.52	0.39
42)		充実した	0.29	0.24	0.48	0.37
36)		重要な	0.09	-0.03	0.41	0.18
二乗和			4.58	2.26	1.49	
寄与率			32.08%	19.90%	15.85%	
累積寄与率			32.08%	51.98%	67.83%	

表1はグリーンツーリズムの因子分析結果である。これ

によって、開放感の因子、華やかさの因子、安定さの因子が鳥取県のグリーンツーリズムの景観評価として示された。寄与率は累積寄与率で 67.83%であった。

次に、表2に被験者全員の因子得点の結果を示す。第1因子である「開放感」の第2因子である「華やかさ」ともに「くつろぎの館「ままごと家」」が最も得点が高くなった。

表 2: 因子得点 (グリーンツーリズム)

景観(団体名)	第1因子	第2因子
	開放感	華やかさ
鬼入道グリーンツーリズム研究会	0.395	-0.871
新田むらづくり運営委員会	-0.536	-0.664
井田農園	-0.925	-0.103
グリーンツーリズムやまだ	0.367	0.183
くつろぎの館「ままごと家」	0.542	0.636
里山元気塾	0.104	-0.164
NPO法人養生の郷	-0.351	0.469
ふくべ楽居大学	0.285	0.314

表3: エコツーリズムの因子分析結果

変数名		因子分析結果(n=177)					
		因子No.1	因子No.2	因子No.3	因子No.4	因子No.5	共通性
第1因子	壮大さ						
28)	爽やかな	0.74	0.15	-0.10	0.04	0.17	0.60
19)	すかすかしい	0.73	0.11	0.05	0.20	0.03	0.59
17)	自由な	0.71	0.13	0.23	0.18	0.09	0.62
20)	さっぱりした	0.69	0.02	0.22	0.06	0.01	0.52
11)	気持ちはよい	0.68	0.19	0.11	0.04	0.03	0.51
29)	澄んだ	0.68	0.12	-0.09	0.07	0.24	0.54
31)	雄大な	0.61	-0.01	-0.17	0.03	0.22	0.45
41)	風情のある	0.57	0.12	-0.05	0.12	-0.23	0.41
16)	みずみずしい	0.54	0.00	-0.09	-0.23	0.08	0.36
42)	充実した	0.54	0.10	0.08	-0.27	-0.04	0.38
30)	豊富な	0.52	0.09	0.27	-0.09	0.16	0.38
7)a	快適な	0.50	0.23	-0.03	-0.41	-0.09	0.48
13)	野性的な	0.44	0.12	0.03	-0.08	0.03	0.22
1)	開放的な	0.44	0.17	0.07	0.14	0.18	0.28
第2因子	魅力						
38)a	きれいな	0.26	0.75	0.17	-0.09	0.10	0.68
25)a	素敵な	0.26	0.66	0.13	0.05	-0.15	0.54
21)a	魅力的な	0.25	0.60	0.33	-0.03	0.05	0.54
34)a	楽しい	0.14	0.59	0.25	0.17	0.13	0.48
33)a	ユニークな	-0.08	0.54	-0.23	0.26	0.29	0.51
8)a	幻想的な	0.03	0.52	-0.03	0.03	-0.16	0.30
第3因子	身近な						
26)a	身近な	0.12	0.23	0.70	0.04	-0.01	0.56
40)a	見慣れた	-0.25	0.11	0.62	0.03	0.35	0.58
4)	普通の	0.07	0.04	0.57	-0.04	-0.13	0.35
第4因子	儂さ						
23)a	淡い	0.03	0.20	0.00	0.71	-0.13	0.56
27)a	静かな	0.37	0.05	0.00	0.45	-0.19	0.38
第5因子	上質の						
5)	丁寧な	0.15	0.05	0.01	-0.05	0.51	0.29
15)	贅沢な	0.17	-0.08	0.00	-0.12	0.47	0.27
二乗和		5.66	2.63	1.73	1.26	1.11	
寄与率		25.98%	14.74%	11.42%	9.68%	7.10%	
累積寄与率		25.98%	40.72%	52.14%	61.82%	68.93%	

表3はエコツーリズムの因子分析結果である。これによって、壮大さの因子、魅力の因子、身近さの因子、静かさの因子、上質の因子が鳥取県のエコツーリズムの

景観評価として示された。寄与率は累積寄与率で 68.93%であった。

次に、表4に被験者全員の因子得点の結果を示す。

第1因子である「壮大さ」、第2因子である「魅力」ともに「大山・ブナの森の古道散策」が最も得点が高くなった。

表4: 因子得点 (エコツーリズム)

景観(ツアー名)	第1因子	第2因子
	壮大さ	魅力
山陰海岸シーカヤック	-0.106	-0.658
大山・冬のトレッキング	-0.390	-0.014
大山・ブナの森の古道散策	0.253	0.488
大山の森・川床道トレッキング	0.221	0.098

5. 他地域との比較による鳥取県内のエコツーリズム・グリーンツーリズムの課題抽出

大分県宇佐市安心院町のグリーンツーリズムと鳥取県のグリーンツーリズムを比較し、鳥取県のグリーンツーリズムの課題抽出を行った。課題は、受け入れ体制の整備、行政との連携、規制緩和となった。

また、長野県飯田市、上村及び南信濃村を中心とする南信州地域のエコツーリズムと鳥取県のエコツーリズムを比較し、鳥取県のエコツーリズムの課題抽出を行った。課題は、人材の育成、既存資源の発掘と利用、魅力ある観光資源の創出となった。

6. まとめ

景観評価の結果として、鳥取県のグリーンツーリズムでは、開放感の因子、華やかさの因子、安定さの因子が示され、鳥取県のエコツーリズムでは、壮大さの因子、魅力の因子、身近さの因子、静かさの因子、上質の因子がの景観評価として示された。

鳥取県のグリーンツーリズムの課題としては、受け入れ体制の整備、行政との連携、規制緩和の3点が示され、エコツーリズムの課題としては、人材の育成、既存資源の発掘と利用、魅力ある観光資源の創出が示された。